

平成31年1月23日付【下水道新聞】
九州支部<九州建設5団体 新年賀詞交歓会>
業界の魅力拡大に期待

業界の魅力
拡大に期待

九州建設5団体
新年賀詞交歓会

全国上下水道コンサル
タント協会九州支部(松

尾禎泰支部長)ら建設関連5団体は10日、福岡市内で平成31年新年賀詞交歓会を開催。約330人が出席した。

主催5団体を代表し、福岡県測量設計コンサルタツ協会の横山巖会長が「業界では、公共事業抑制時期に採用を控えざるを得なかったことから技術者の高齢化が進んでいる。若手の確保に大変苦慮しており、事業継続に不安も。公共事業の安定的な発注、設計単価の適正化についてさらなる理解を」とあいさつ。

来賓として、国土交通省九州地方整備局の伊勢田敏局長が「いつの時代も次世代に備えたインフラ整備が必要。今年も九州のインフラ整備の青写

真をプロ集団である5団体の皆さんと描いていきたい」とあいさつ。

小川洋福岡県知事は「当県は2年連続で豪雨災害に見舞われたが、全力で復旧に取り組んでいる。インフラの維持管理・長寿命化も着実に進めるとともに、公共工事設計労務単価の実勢価格も速やかに反映し、コンサル業界が魅力あるものになりたい」とあいさつした。

国交省国土地理院の後藤勝広九州地方測量部長の発声で一同乾杯し、一年の多幸を願った。